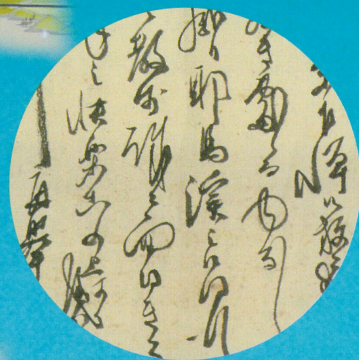
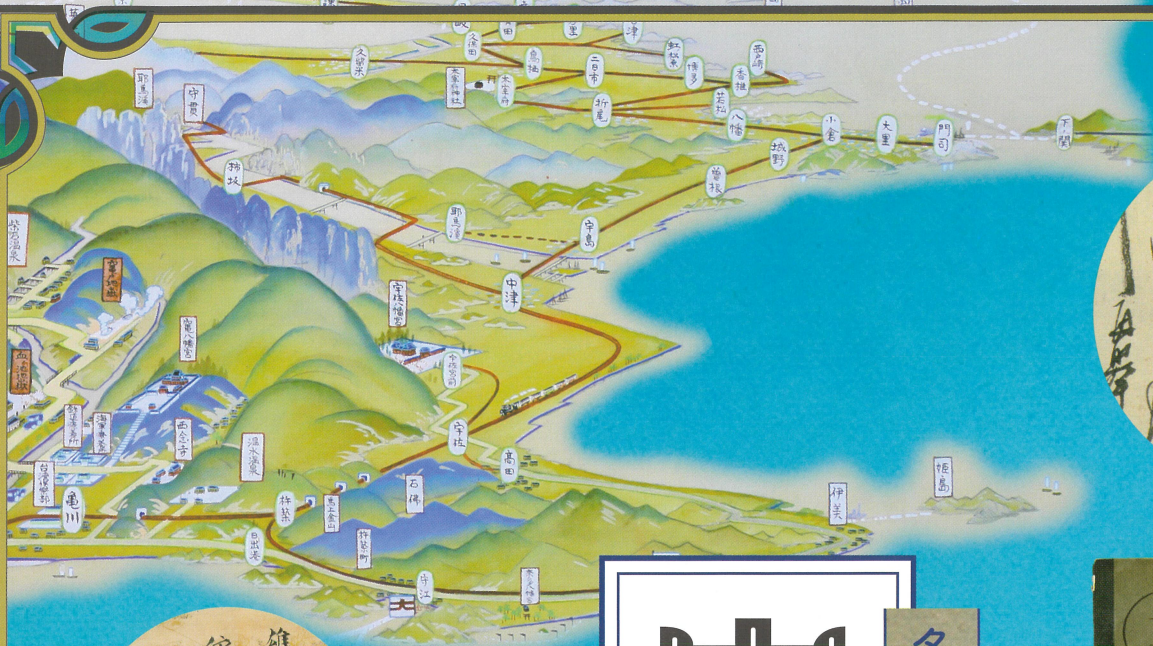




岩石の王国

名勝耶馬溪指定100周年記念特別展



— 耶馬溪はなぜ国名勝になったのか —

2023年
1/21(土) ▶ 3/12(日)

 中津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)

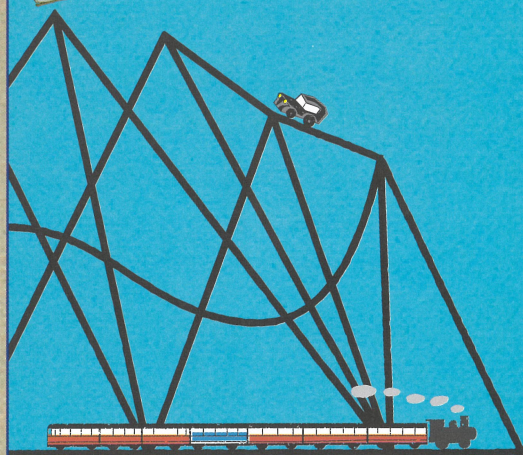
観覧料：一般300円

団体100円(20人以上)

中学生以下無料、障がい者割引有

後援：慶應義塾

図版：楽志論(個人蔵)、小杉放菴日記(小杉放菴記念日光美術館蔵)、小杉放菴耶馬溪図巻(個人蔵)、十八羅漢図(廣誠院蔵・龍谷ミュージアム寄託)、田山花袋・小杉放菴写真(田山花袋記念文学館蔵)、日原昌造宛福澤諭吉書簡(慶應義塾福澤研究センター蔵)、別府市鳥瞰図(別府市美術館蔵)、吉岡拝山耶馬溪図(豊門会館蔵)、天下無二耶馬全溪之交通図絵、婦人世界、耶馬溪紀行



名勝耶馬溪指定
100周年記念特別展

岩石の王国

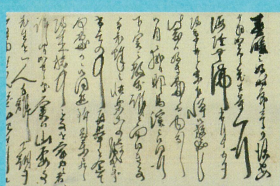
ー耶馬溪はなぜ
国名勝になったのかー

岩石の王国ー田山花袋・小杉放菴による『耶馬溪紀行』の中で、次から次へとあらわれる耶馬溪の奇岩景観を表現した言葉です。耶馬溪は江戸時代に頼山陽によって全国にその名が知られた景勝地です。明治維新後、鉄道敷設など近代化が進んだことで多くの人が訪れ、観光地として栄えました。一方で福澤諭吉らが景観保護活動を行ったことで、耶馬溪は開発と保護を両立しながら発展し、大正12年3月7日に「名勝耶馬溪」が指定されました。国名勝指定100年を記念する本展覧会では、文人による耶馬溪画をはじめ、耶馬溪の交通発展の要となった耶馬溪鉄道と石橋、中津の偉人である福澤諭吉や和田豊治に関する資料や、耶馬溪を歩き描いた文豪・田山花袋と画伯・小杉放菴ゆかりの品々を展示し、耶馬溪をめぐる旅へご案内します。

「まもる」意識の芽生え

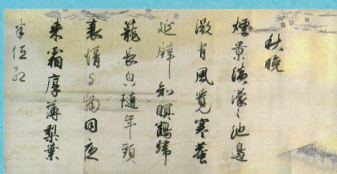


① 実業家の手に渡り、焼失を免れた羅漢寺旧蔵の名品



② 福澤諭吉、愛息と耶馬溪に遊ぶ競秀峰を買い、景観を守ることを決意

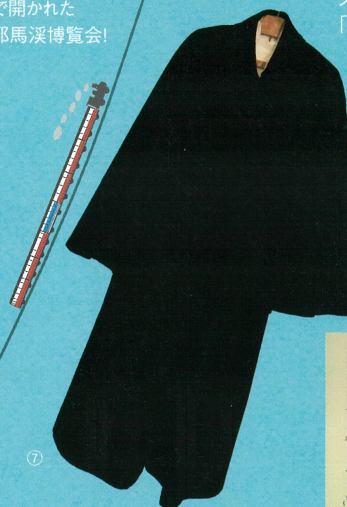
「交通、観光」近代化の道のり



④ 耶馬溪鉄道の敷設に尽力した和田豊治の遺愛品

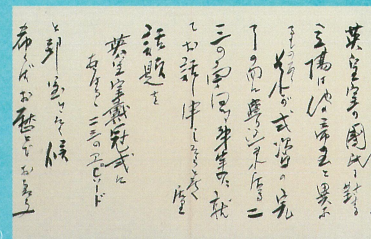


⑤ 国技館で開かれた世紀の耶馬溪博覧会!

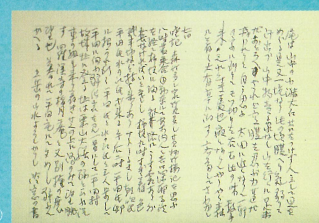
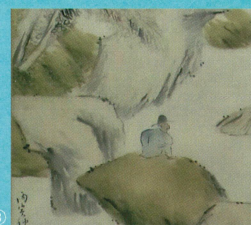


⑦ 文豪・田山花袋と画家・小杉放菴、『耶馬溪紀行』を執筆

「観光地として全国へ」文人たちの広報活動



⑥ 久留島武彦、故郷で講演。演題は「エリザベス女王戴冠式でのエピソード」



イベント

申し込みは中津市歴史博物館まで。令和5年1月15日より受付。

耶馬溪紀行トークセッション

- 日時：令和5年1月28日(土) 13:30~15:30
- タイトル：〜大正時代の耶馬溪を旅しよう。〜
- ゲストスピーカー
迫内祐司氏(小杉放菴記念日光美術館) 小林里穂氏(田山花袋記念文学館)
- 会場：新中津市学校 要予約(定員60名)
- 参加無料

百年料亭サロン

- 国登録有形文化財である筑紫亭で、お茶を楽しみながら文化財についてお話しします。
- ご案内：当館学芸員
- 日時：令和5年2月26日(日) 15:30~17:00
- 会場：筑紫亭 ●定員：15名(要予約)
- 参加費：1,500円(菓子、特別展観覧券付)

スライドトーク

- 特別展の見どころについて、解説します。
- 講師：当館学芸員
- 日時：令和5年1月22日(日)、2月11日(土・祝)、3月5日(日) いずれも10:00~11:30
- 会場：中津市歴史博物館 ●参加費：無料(予約不要)

- ① 絹本着色十八羅漢図(廣誠院蔵・龍谷ミュージアム寄託) / ② 日原昌造宛福澤諭吉書簡(慶應義塾福澤研究センター蔵) / ③ 吉岡拝山筆「耶馬溪図」(豊門会館蔵) / ④ 松花堂昭乗筆「詩歌巻」(個人蔵) / ⑤ 「面白誌」(個人蔵) / ⑥ 土生秀雄宛久留島武彦書簡(筑紫亭蔵) / ⑦ 田山花袋着用マント(田山花袋記念文学館蔵) / ⑧ 小杉放菴筆・田山花袋賛「耶馬溪図」(田山花袋記念文学館蔵) / ⑨ 小杉放菴日記(小杉放菴記念日光美術館蔵)



中津市歴史博物館

〒871-0057 大分県中津市1290番地(三ノ丁)
TEL (0979) 23-8615 / FAX (0979) 23-8616
開館時間：9時~17時(入館は16時30分まで) / 駐車場：22台
休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

<http://nakahaku.jp>

